

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成20年3月20日 第29号

CONTENTS

- 1 コラム
【1】『景観十年風致百年風土千年』（木材産業課長）
- 2 当庁の動き
【1】林政審議会施策部会の概要について
- 3 緑化に関する情報
【1】森林ボランティア活動情報
- 4 その他の情報（イベント情報等）
イベント情報
【1】第6回森の“聞き書き甲子園”フォーラム
【2】日本森林学会公開シンポジウム
【3】農林水産省「消費者の部屋」特別展示
お知らせ
【4】「緑の募金でふせごう地球温暖化」
美しい森林づくりのため、緑の募金に御協力を！！

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 メッセージ

【1】『景観十年風致百年風土千年』（木材産業課長）

今回は、小林（こばやし）木材産業課長より『景観十年風致百年風土千年』と題して、風土に調和した木造建築物がもたらす景観美についてお話しします。

旧山古志村の復興住宅の取り組みに感銘を受けました。建築の先生に加え地元の工務店、製材業者などが地元住民とも話し合っ、山古志のくらしや風土に調和した復興住宅のモデルプラン（デザイン、仕様）を作成しました。それぞれの住宅は、このプランをベースに地元の工務店・大工が地元の製材工場で製材された地元の木材で建てられ、現在18棟36戸となっているそうです。

我が国には福島県の大内宿、中仙道の妻籠、馬籠、愛媛県の内子など木造建築物の美しい街並みがあります。こうした街並みは時とともに熟成し、風景にとけ込んでいるように

見えます。美しい街並みは地域の気候や生活と切っても切れない関係にあるのかも知れません。

ビジネス用語で「ロングテールの法則」というのがあります。戸建て住宅のマーケットは意外とこの法則が当てはまるのではないかと考えております。大手メーカーの宣伝が目につきますが、戸建て住宅は地域の工務店・大工が頑張っております。住まい勝手は住む人に合わせて、建物は風土、風景に合わせて、そして住まう人々は楽しいコミュニティを形成していく。10年持つ景観ではなく100年以上持ち年とともに美しくなる街が地域の木材で造られたらと思います。

2 当庁の動き

【1】林政審議会施策部会の概要について

「平成19年度森林及び林業の動向」(案)等に関し、検討案の構成や記述内容等について議論、意見交換を行いましたので概要をお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kikaku/080225.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

3 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

森林ボランティア活動の情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。

(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

「企業の森づくりフェア2008」が開催されました

企業による森づくりを促進するため、「企業の森づくりフェア2008」が2月22日(金)に農林水産省7F講堂で開催され、森づくりに関する基調講演や、企業が取り組む事例紹介、各都道府県等による個別相談会が行われました。出展者も含め約350名、220社・団体からの参加があり、森づくりに関する情報交換が活発に行われました。

4 その他の情報（イベント情報等）

イベント情報

【1】第6回森の“聞き書き甲子園”フォーラム

「森の名手・名人」を取材し、知恵や技術、ものの考え方等を聞き書きした高校生の代表4組が、体験談やエピソードを語るなど様々なプログラムを用意しています。

開催日 平成20年3月23日（日）

場 所 江戸東京博物館1階ホール

主 催 森の“聞き書き甲子園”実行委員会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/080306.html>

【2】日本森林学会公開シンポジウム

「森林(やま)からみた花粉症」をテーマに、科学的知識の習得や花粉対策に関する研究の現状を知っていただき、今後必要とされる方策を討議します。また、パネルディスカッションでは、森林に関係する技術者・研究者・行政担当者から、花粉の発生予測に関する研究、育種面からの花粉対策手法に関する研究、森林施業面からの花粉対策に関する研究、行政による花粉対策の事例等を紹介していただき、今後の花粉症対策に関する研究の方向性について議論します。

開催日 平成20年3月27日（木）

場 所 東京農工大学府中キャンパス本館・講堂

主 催 日本森林学会（第119回日本森林学会大会運営委員会）

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.forestry.jp/contents/meeting/meeting119/119_symposia.htm

【3】農林水産省「消費者の部屋」特別展示

下記の期間、農林水産省1階『消費者の部屋』（東京都千代田区）にて特別展示を行います。

1. 展 示 名 カートカン 飲んで育てる 日本の森林

展示内容 カートカン（飲料用紙製缶）は間伐材をはじめとした国産材を利用した、森林整備に貢献している飲料容器です。この飲料容器がどのように森林整備に貢献しているかをわかりやすくご紹介します。

展示期間 平成20年4月7日（月）～4月11日（金）

2. 展 示 名 美しい森林づくり（国民参加の森林づくり）

展示内容 「緑の募金」を活用した緑化運動、全国の森林ボランティア活動の情報、緑の月間の各種イベント、二酸化炭素の吸収源としての森林の役割、森の名手・名人、「森の”聞き書き甲子園”」等をご紹介します。

展示期間 平成20年4月14日（月）～4月18日（金）

(注)

農林水産省内に入られる際には、正面玄関で顔写真付き身分証明書のご提示、顔写真付き身分証明書のない方は、正面玄関でお名前等を記入していただくこととなっていますので、ご協力をお願いいたします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heyu/20f_schedule1220.pdf

お知らせ

【4】「緑の募金でふせごう地球温暖化」

美しい森林づくりのため、緑の募金に御協力を！！

春の緑の募金運動が1月15日から5月31日まで、社団法人国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会の呼びかけにより実施中です。御協力頂いた緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちが行う体験林業などの取組に役立てられています。

「美しい森林づくり」に向けて、緑の募金への皆様の御理解と御協力をお願い致します。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/>

編集後記

私には思い出に残る歌があります。森山直太郎さんの歌「さくら」です。それは、昨年のちょうどこの時期。人事異動のため秋田へ異動となった同僚と東京へ異動となった私に、元職場の先輩が歌ってくれた歌です。それから早いもので1年が過ぎようとしています。今思えばあっという間の1年。そして、また美しい桜が咲き誇る季節となりました。みなさんの中にも住み慣れた場所や思い出の場所を離れる方もいらっしゃるのではないでしょうか。

みなさんにとって、桜のような美しい出会いがありますように。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、

「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3502-8026

E-mail :

https://www.voice.maff.go.jp/maff-interactive/people/ShowWebFormAction.do?FORM_NO=82

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続及びメールアドレスなどの
会員情報の変更は下記サイトで手続をお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを
入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>